

# 静岡県における学校現場の状況と眼科学校医の関わり

\*\*\*\*\*

永田眼科

永田 豊文

静岡県眼科医会

松久 充子

## はじめに

学校現場には視覚に関連する問題が多く存在しているが、眼科学校医がどのように関与するかは、個々の眼科医に任されているのが現状である。したがって、眼科学校医の学校現場への関わり方には差があり、関わり方が分からない、対処法に苦慮している眼科医も少なくないと思われる。この点を鑑み、静岡県眼科医会学校保健委員会では、学校現場における実状や問題点の把握、ならびに眼科学校医が今後どう関わっていくべきかの指針を検討するため、会員に対してアンケート調査を行った。

## 方法

平成25年5月に、静岡県眼科医会のA会員155医療機関に対して、眼科学校保健に関するアンケート用紙を送付した。送付方法はFAXまたはE-mailにより行った。

## 結果

回答は46医療機関より得られた（回答率30.0%）。回答を寄せた眼科医療機関が担当する学校数は、小学校136校、中学校79校であった。以下に眼科アンケートの設問と回答結果を示す。

## 設問【1】学校の色覚検査について

①-1) 先生が学校医をしている学校では色覚検査を実施していますか。

図1 小学校における色覚検査の実施状況（調査対象136校中）

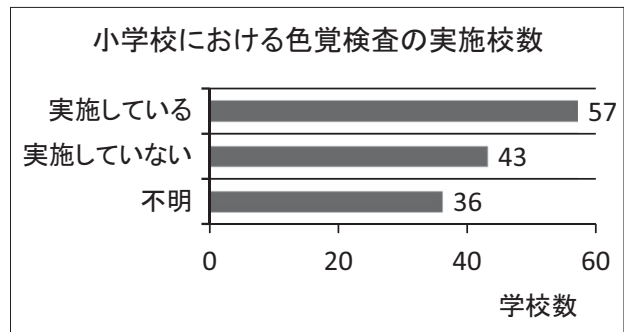
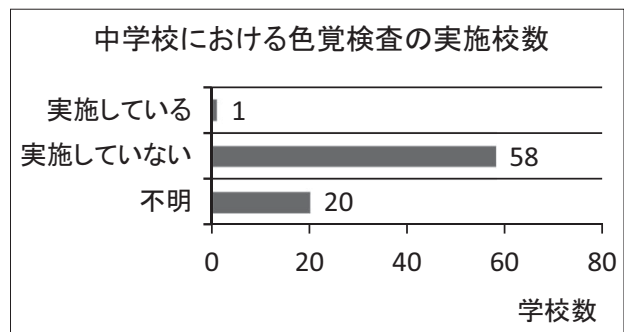
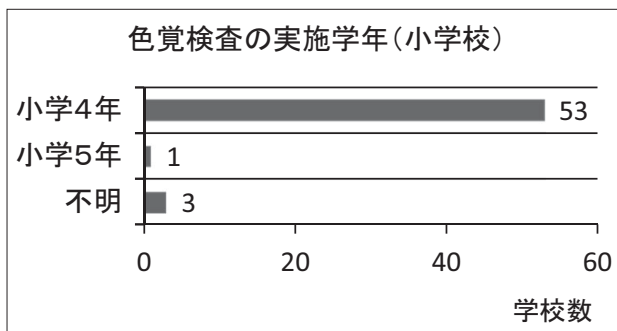


図2 中学校における色覚検査の実施状況（調査対象79校中）



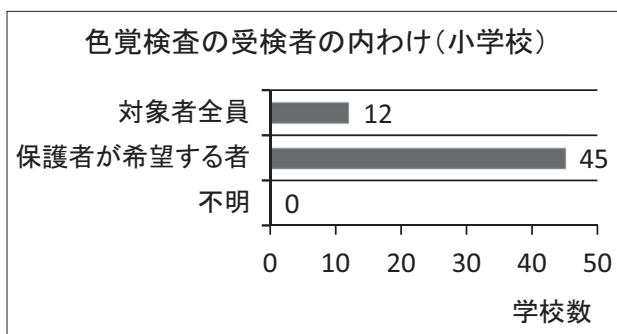
①-2) 色覚検査を実施している学校では対象はどの学年ですか。

図3 小学校における色覚検査の実施学年(実施57校の内わけ)



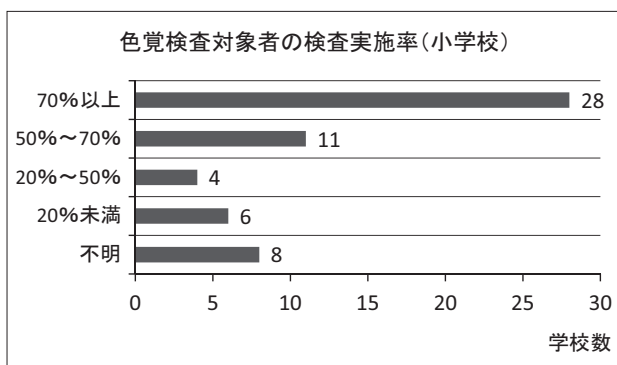
①-3) 色覚検査を実施するのは対象の全員ですか、希望者のみですか。

図4 小学校における色覚検査の受検者(実施57校の内わけ)



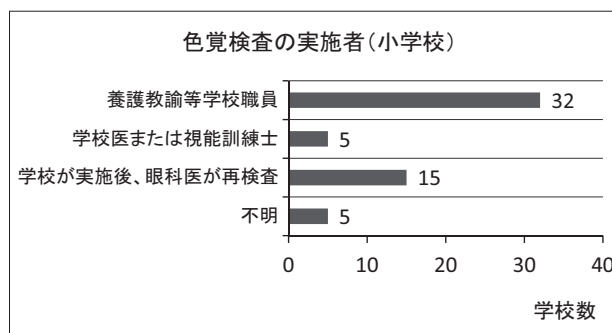
①-4) 色覚検査対象者の検査実施率はどのくらいですか。

図5 小学校における色覚検査対象者の検査実施率(実施57校の内わけ)



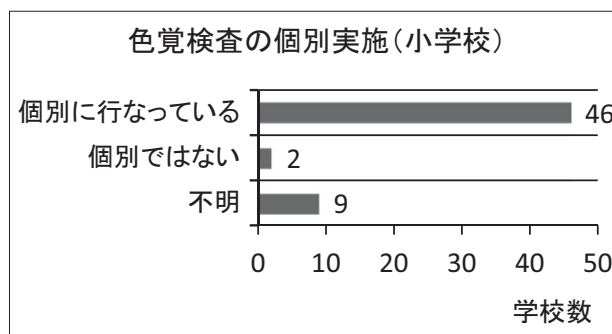
①-5) 色覚検査を行うのはだれですか。

図6 小学校における色覚検査の実施者(実施57校の内わけ)



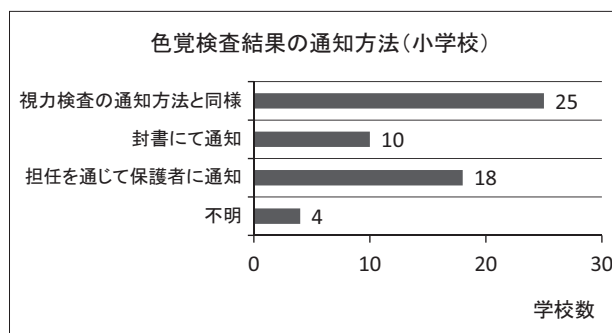
①-6) 学校での色覚検査は個別に行なっていますか。

図7 小学校における色覚検査の個別実施について(実施57校の内わけ)



①-7) 学校から色覚検査の結果はどのように通知されていますか。

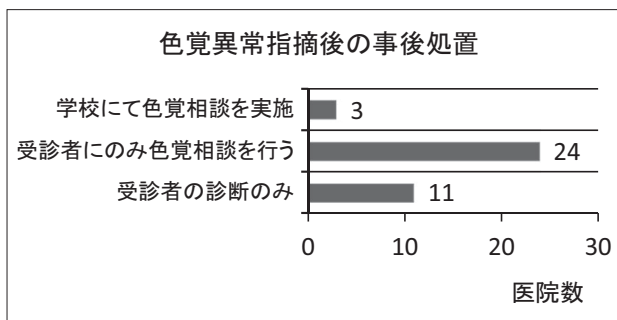
図8 小学校における色覚検査結果の通知方法(実施57校の内わけ)



**設問【2】色覚検査の事後処置について**

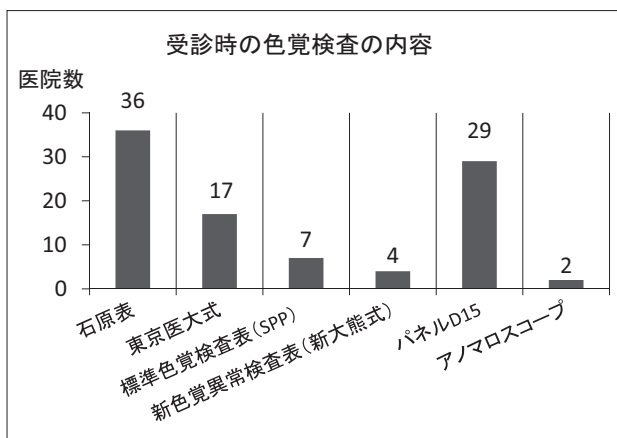
②-1) 先生は、色覚異常を指摘された生徒にどのような事後処置をされていますか。

**図9 色覚異常指摘後の事後処置 (46医療機関中)**



②-2) 受診した際の色覚検査は何を実施していますか。

**図10 受診時の色覚検査の内容 (46医療機関中)**



②-3) アノマロスコープのない先生は、アノマロスコープのある医療機関に紹介しますか。

回答 (46医療機関中) 紹介する：10

紹介しない：28

②-4) 診断結果には検査方法を明記していますか。

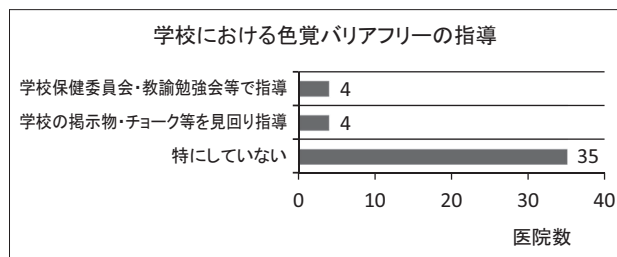
回答 (46医療機関中) 明記している：14

明記しない：24

**設問【3】色覚異常に関する指導等について**

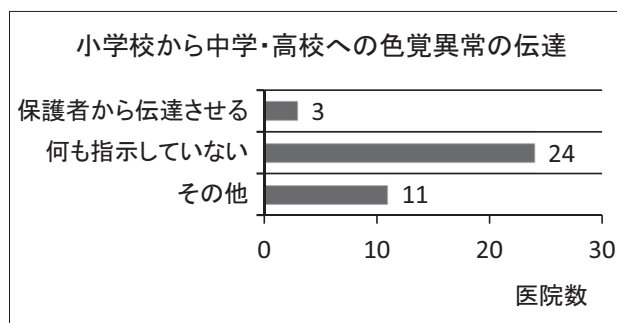
③-1) 先生は学校における色覚バリアフリーの指導をしていますか。

**図11 色覚バリアフリーの指導法 (46医療機関中)**



③-2) 小学校で色覚異常が判明した場合、中学・高校への伝達はどう指導していますか。

**図12 小学校から中学・高校へ色覚異常の伝達方法 (46医療機関中)**



③-3) 色覚異常に制限のある職業を希望する生徒に検査を受けるよう指導していますか。

回答 (46医療機関中) 指導している：14

指導していない：22

**設問【4】ロービジョン児童生徒について**

④-1) 視覚支援学校や弱視学級の対象でない弱視の児童生徒(グレーゾーン児童)は普通学級にいます。先生が学校医をしている学校にこのような生徒はいますか。

**図13 小学校におけるグレーゾーン児童の存在 (対象136校中)**

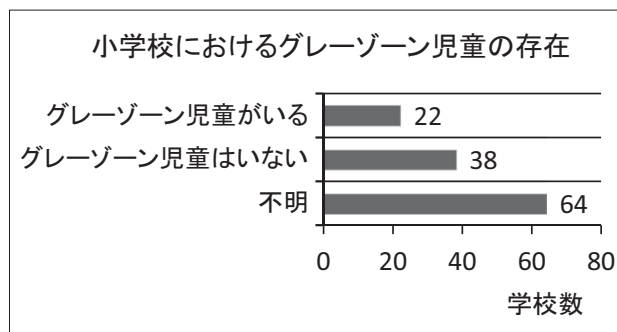
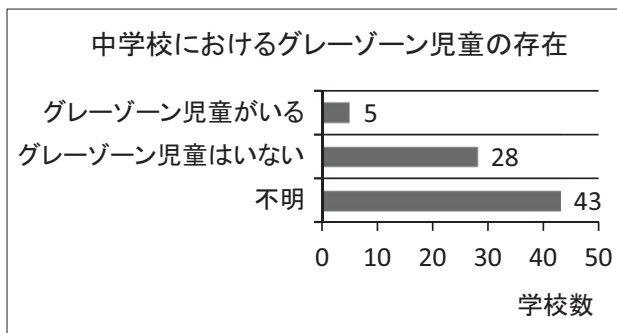
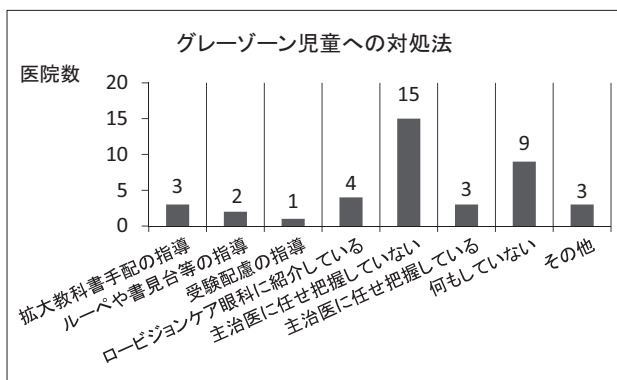


図14 中学校におけるグレーゾーン児童の存在  
(対象79校中)



④-2) 先生はグレーゾーン児童への対処はどのようにされていますか。

図15 グレーゾーン児童への対処法  
(46医療機関中)



### 設問【5】

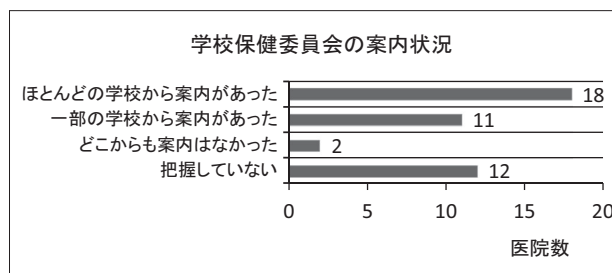
通常学級の4.5%に学習障害の可能性があり(2012年文科省調査)、この中には遠見視力が良くても読み書きに著しい困難を示す児童生徒が含まれていることを知っていますか。

回答(46医療機関中) 知っている: 23  
知らない: 18

### 設問【6】学校保健委員会について

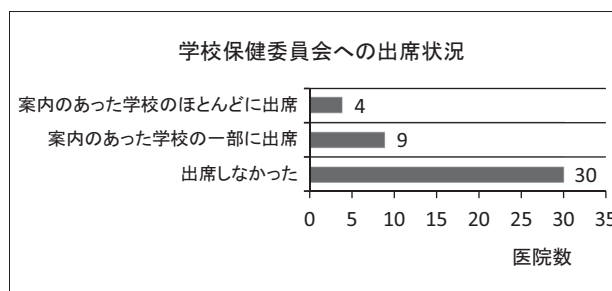
⑥-1) 昨年、先生が学校医をしている学校から、学校保健委員会への出席案内がありましたか。

図16 学校保健委員会開催の案内状況  
(46医療機関中)



⑥-2) 昨年、先生は学校保健委員会に出席されましたか。

図17 学校保健委員会への出席状況  
(46医療機関中)



### まとめ

アンケート調査により、学校現場の実情や眼科学校医の取り組みの状況がある程度把握することができた。この結果をもとに、眼科学校医が今後どう関わっていくべきか検討を進めたい。また、このようなアンケート調査は、眼科学校医に学校保健の課題を伝えることにも有効であると感じた。